

平成24年行政事業レビューシート (復興庁、厚生労働省)

事業名	精神障害者保健福祉対策(復興関連事業)		担当部局庁	復興庁/厚生労働省障害保健福祉部		作成責任者	尾関 良夫(復) 福田祐典(厚)	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	統括官付参事官(予算会計担当)/精神・障害保健課				
会計区分	一般会計及び東日本大震災復興特別会計		施策名	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針(平成23年7月)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	大規模自然災害発生時における精神医療については、災害発生以前からの要医療者だけではなく、被災者・被害者全員に起こりうるという広汎性、災害発生後一定期間経過してもなお継続的にケアが必要という長期性の特徴がある。この対応のため、精神科医師、看護師、精神保健福祉士、臨床心理士等の専門職種により心の不調を訴える被災者への訪問支援を行うとともに、当該専門職種からなるチームを災害発生時に迅速かつ円滑に派遣するための連絡調整を行う機関として「災害時心のケア研究・支援センター」を整備し、平成23年東日本大震災被災者に対する継続的な対応及び今後発生が予想される東海地震その他の災害の発生に備えた体制づくりのための研究や調査を行うことを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	<p>岩手県、宮城県、福島県において、地域の医療機関や市町村等と連携しながら、被災者の心のケアのための相談支援等を実施する。</p> <p>また、東日本大震災における被災地の心の健康状態や心のケアチームによる支援内容に関するデータの収集・分析を行うとともに、当該分析結果及び災害時ストレス対策に関するこれまでの最新の研究成果をふまえ、専門的知見から、岩手県、宮城県、福島県の各県庁及び「心のケアセンター」に対して、被災者等の心のケアに関する技術的指導・助言及び情報提供を行う。</p> <p>さらに、今後の大規模自然災害発生時の全国的な支援体制の整備のため、これまで発生した災害(地震、台風による水害、火山の噴火等)及び委託期間中に新たに発生した大規模災害による被災者・被害者の心のケア対策について、必要に応じて調査を行うとともに、対策を行う地方公共団体に対して技術的助言・研修を行う。</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	1818(復興庁計上)
		補正予算			41			
		繰越し等						
		計						1818(復興庁計上)
	執行額			41				
	執行率(%)			100				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災者の精神保健の向上(具体的な数値指標がないため、成果目標は記載困難)</li> <li>災害発生時の心のケアチーム派遣の円滑化(具体的な数値指標がないため、成果目標は記載困難)</li> </ul>	成果実績		-	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>心のケア支援に関するデータ集約・調査研究</li> <li>ホームページによる被災者・自治体・医療関係者向け情報提供</li> <li>被災地自治体に対する意見交換及び技術的助言</li> </ul>	活動実績(当初見込み)		-	-	調査研究1件 ホームページ1件 技術的助言1件(調査研究1件 ホームページ1件 技術的助言1式)	-	
単位当たりコスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査研究・・・28百万円/一式</li> <li>ホームページによる情報提供・・・3百万円/一式</li> <li>被災自治体に対する技術的助言・・・8百万円/一式</li> </ul>	算出根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査研究・・・28百万円</li> <li>ホームページによる情報提供・・・3百万円</li> <li>被災自治体に対する技術的助言・・・8百万円</li> </ul>					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	災害時心のケア研究・支援センター事業	-	-					
	被災者の心のケア支援事業	-	1,818					
	計	-	1,818					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	東日本大震災発生後、被災者の心のケアが大きな課題として指摘されている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	心のケアは基本は地方自治体が行うべき事項であるが、専門技術的分野から後方支援する部分のみ国で行う。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	公募により選定されている
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	調査研究、情報提供、自治体支援のいずれも、事業経費を精査し妥当な水準としている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	震災復興は国家的事業であり、国が負担すべきである
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	一部の専門的役務は専門業者に依頼が必要であるが、必要な部分のみに適切に支出されている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	調査研究、情報提供、自治体支援のいずれにおいても、当該事業の遂行に必要な経費に限定している。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	心のケア体制の整備のためには研究調査が不可欠であり、活動実績も目標を達成しているため実効性が高い。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	短期間の割には研究調査・技術的指導の実績を上げた。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	23年度の成果をふまえ、その上に24年度以降のさらなる研究調査・技術的指導が行われる予定
点検結果	事業計画において事業内容、経費の支出予定等を確認のうえ契約締結し、事業実施中においても、心のケアチームの活動情報の集約やケアチーム参加者の意見交換を国とともに行うなど、効率的な方法で実施されていることが確認されている。事業終了後の実績報告により事業実績が支出額に見合っているか、また、実効性のある事業を実施できているかの審査を行い、確定額を精算払いしている。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業は、岩手県、宮城県、福島県において、地域の医療機関や市町村等と連携しながら、被災者の心のケアのための相談支援等を実施するものであり、事業の必要性や執行の観点からも適切であり、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—

※平成23年度実績を記入

厚生労働省  
41百万円



【委託(公募)】

A 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター  
41百万円

被災地における心のケア支援・  
研究体制整備事業

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.独立行政法人国立精神・神経医療研究センター			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務費	調査研究に係るシステム納入業務、 海外研究者との交流のための翻訳業 務等	19			
備品費	調査研究のための情報機器 等	9			
消耗品費	ソフトウェア、事務用品 等	4			
旅費	意見交換会旅費	3			
借料及び損料	意見交換会に係る会場使用料	2			
消費税	委託に係る消費税額	2			
その他	講師謝金、通信運搬費 等	2			
計		41	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につい  
 て記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	独立行政法人国立精神・ 神経医療研究センター	被災地における心のケア支援・研究体制整備事業	41		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					